

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 第 5 回 栃木中央地域会議
開催日時	平成 27 年 9 月 24 日 (木) 18 時 30 分開会～20 時 28 分閉会
開催場所	栃木市役所本庁舎 4 階 議会会議室
出席者及び欠席者氏名	別記 1 のとおり
事務局職員職氏名	別記 1 のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記 2 のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
その他必要事項	なし
会議の経過 (議事の要旨)	別記 3 のとおり

別記 1 出席者及び事務局

○出席者 (委員)

会 長 佐山 正樹	副会長 石河 不砂
委 員 臼井 義雄	委 員 大浦 兼政
委 員 大波 龍郷	委 員 鬼塚 修
委 員 下田 明範	委 員 杉山 栄
委 員 鈴木 林彌	委 員 町田 爽起夫
委 員 村田 弘子	委 員 山口 真右
委 員 若林 芳明	委 員 渡邊 一浩

○欠席者 (委員)

委 員 青木 良一	委 員 木村 隆夫
委 員 高瀬 淳	委 員 中尾 秀美

○事務局

【総合政策部】

天海 俊充 (地域まちづくり課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長)
清水 孝之 (地域まちづくり課長補佐)
野中 聡 (地域まちづくり課主査)
福田 英臣 (地域まちづくり課主任)
山本 晃子 (地域まちづくり課主事)

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

佐山会長

3 議 事

(1) 地域予算事業計画書の決定について

下記の4つの事業計画書について了承。

- ・重要伝統的建造物群保存地区の休憩施設（ベンチ等）の設置
- ・スタントマンによる自転車交通安全講習会
- ・観光館等への顔出し人形（記念撮影用パネル）の設置
- ・巴波川沿岸の擬木の維持補修（幸来橋から巴波川橋の区間）

(2) まちづくり実働組織について

議事録を参照のこと。

(3) 栃木市市民会議委員の推薦について

佐山会長と事務局で候補者を協議し、その方に依頼することです承。

4 その他

(1) 「地域づくりと協働の講演会」の開催について

日 時：平成27年10月27日（火） 14時00分～

会 場：栃木市栃木文化会館 小ホール

対象者：全地域会議委員（129名）、地域づくりに興味のある市民の皆様

テーマ：『地域づくりは人づくり』～地域の活性化を担う人材の育て方～

講 師：高崎経済大学地域政策学部 大宮 登 教授

(2) 次回の地域会議について

・次回開催予定 平成27年11月26日（木） 18時30分～

栃木市役所本庁舎3階 正庁

5 閉 会

別記 3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 地域予算事業計画書の決定について</p> <p>前回の地域会議で、以下の 4 つの事業について了承されたことを受けて、それぞれの事業計画書を事務局で作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重伝建地区休憩施設設置事業 ・ 栃木中央地域交通事故防止対策事業 ・ 観光用記念撮影パネル設置事業 ・ 巴波川沿岸修景事業 <p>内容を確認のうえ、地域会議として最終的な了承をいただきたい。</p> <p style="text-align: center;">【事業計画書の内容を確認のうえ、一同了承】</p>
事務局	<p>(2) まちづくり実働組織について</p> <p>資料に基づき、まちづくり実働組織（以下、「実働組織」）の概念、モデル地区（皆川・吹上・寺尾・国府・大宮地区の各まちづくり協議会の活動）の状況、栃木中央地域における主な団体の状況について説明。</p>
佐山会長	<p>ありがとうございました。説明を聞くと非常に遠大な計画で、これまでにない新しい仕組みを作っていくことになるわけです。</p> <p>参考までに、倭町に明治 30 年代から昭和 40 年代までの記録が残っており、明治時代から大正時代にかけて、総代会が中心となって街なかの自治組織がしっかり機能していたことがわかりました。今後、情報化、高齢化がますます進む中で、既存の自治会が担っていた役割も含め、地域会議と実働組織が両輪となって、住みよい地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>実働組織の立ち上げや運営に関して、1 人ずつご発言をお願いできますか。</p>
委員	<p>栃木中央地域は 5 つのモデル地区よりも広域で、おそらく様々な意見が出るでしょう。実働組織が取り組む事業をどのように絞り込むか、そして機動力のある組織を作れるかどうかのポイントになると思います。</p> <p>個人的には、中央地域内にいくつかの実働組織ができて、そこに様々な年齢層の方々が参加するイメージを持っています。</p>

委員	<p>この中央地域で実働組織を1つにまとめようとする、エリアが広すぎてまとまらないのではないのでしょうか。また、実働組織はイベント絡みでないとなら集まらないと思います。サマーフェスタやとちぎ秋まつりでは、山車会館の周りだけが盛り上がり、周辺部に人がいません。中央地域全体で参加できるイベントを企画するならば、その辺りを考えないといけなないと思います。</p>
委員	<p>5つのモデル地区は旧村単位なのでまとまりがありますが、例えば、栃木中央地域内で「歴史を学ぶ」という視点で見た場合、地区によってその視点も若干違うように思います。そういう意味で、1つにまとめるのではなく、ある程度特徴を持った地区でまとまって立ち上げるのがよいと考えています。</p>
委員	<p>説明を聞いて、栃木中央地域内で様々な組織・団体が活動していることがわかりました。この中央地域には住民が一体となれるお祭りや運動会がないので、そのようなイベントに絡める形で実働組織を立ち上げられたらよいと思います。</p>
委員	<p>他の地区を見ていると、ほとんどがイベント関係の組織ですね。逆に言うと、そのほうが人も集まりやすく、組織を知ってもらいやすいし、何より活動しやすいのではないのでしょうか。</p> <p>栃木中央地域は自治会連合会の単位で7地区に分けることができますが、その7地区が果たして同じような地区なのかどうか。実働組織を作ることが先なのか、取り組むテーマを決めてから実働組織を作るのか。地域会議で組織づくりの提案もできるのであれば、無理をしないでやれる範囲のまちづくりをするのがよいと思います。</p>
委員	<p>私が住む地区では、すでに自治会でモデル地区のような活動を実施しています。実働組織を作るとは賛成ですが、自治会の単位より大きな組織ができた時に、事業の棲み分けが課題になると思います。</p>
委員	<p>モデル地区の5つのまちづくり協議会は、生涯学習課の各地区公民館が事務局となって活動をバックアップしていると聞いています。実働組織の運営には行政が絡んでいかないと難しいと思います。</p> <p>個人的には、各地区にあるコミュニティ推進協議会を中心として実働組織を立ち上げるべきと考えています。そして、全体では安全安心なまちづくりを目指す一方で、「それぞれの構成団体の縄張りは侵さないように」などといった意見が強い場合は、行政がしっかり関与しないと立ち上げは難しいのではないのでしょうか。実働組織には、中央地域内の各種団体と協議しながら活動を進めてほしいと思います。他の団体とうまく溶け込めないのであれば、行政の支援も必要になるでしょう。実働組織のリーダーの位置付けも難しいところです。</p>

委員	<p>例えば、自治会で自治会費を払って、さらに実働組織で会費のようなものを集めるとなった場合、特に高齢者の負担が大きくなるような気がします。会費の二重取りのような形にならないように配慮する必要があると思います。</p>
委員	<p>せっかくの機会ですので、この中央地域全体を横断するような実働組織を作ってもらいたいと思います。地区ごとに年齢層も違うわけですから、年齢やテーマで細かく分けて、市内のどの地区からも参加したい人が集まれる形で、若い人がやってみたいと思うようなお祭りやスポーツを柱にすれば、組織も立ち上げやすいのではないのでしょうか。何とか7つの地区に横串を刺せるような実働組織になってももらいたいと思います。</p>
委員	<p>今月の豪雨により、栃木市でも大きな被害が出ました。私も災害ボランティア活動に関わる機会があり、吹上地区に足を運んだのですが、吹上地区まちづくり協議会の方々が100人くらいで復旧作業を手伝っていて、その連帯感の素晴らしさに感銘を受けました。ぜひ中央地域にもこのような組織ができてほしいと思っています。</p> <p>地域の課題解決と言うからには、何かテーマを持って活動している組織体のイメージがあります。例えば、子育て支援や災害復旧など地域内で連携のとれるテーマを掲げた実働組織がいくつかできればよいと思います。</p>
委員	<p>実働組織を立ち上げた後、それらを繋げてしっかり情報発信する場を作ることが大切であると感じています。既存の団体の中には活動している方がいつも一緒に、人の広がりがないような団体も多く見受けられます。</p> <p>実働組織を立ち上げても、市民に全く関係のない世界で活動してはまったく意味がありません。先ほど意見がありましたが、地域の皆さんからお金を集めて、それを一部の人だけが使うといったことは絶対に避けるべきです。</p>
委員	<p>実働組織は最初から7つの地区すべてで立ち上げる必要はなくて、その地区で必要があるなら、組織を立ち上げて活動するということですね。</p> <p>地区ごとに必要とされた課題に取り組めばよいので、同じような課題を持った地域の方々が集まって組織を作ればよく、栃木中央地域で1つにまとめる必要はないと思いますが、その辺を事務局ではどう考えますか。</p>
事務局	<p>実働組織のあり方は皆様の議論に委ねます。ただ、自治会の活動と同じでは立ち上げる意味がないので、広く市民の方、そして委員の皆様も参加できる協議会のような組織をイメージしていただくとわかりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>そして、テーマ先行で組織するのか、エリア先行で組織するのか。その辺りを皆様に話し合っていただきたいと思います。</p>

委員	<p>テーマ先行で考えるなら、この中央地域にはお祭りが 20 くらいあるんですが、問題は目玉となる企画。サマーフェスタの蔵踊りもあるんですが、振り付けが難しく若い人たちしかできません。花火のように全世代が楽しめる目玉企画が欲しいところです。</p>
委員	<p>取り組むテーマが先か、区割りが先か。先ほど横串というお話もありましたが、この地域で取り組む課題が話し合いの中で見つければ、そこから広げて地区を限らずに活動していくべきではないでしょうか。</p>
委員	<p>自己犠牲を払ってまちづくりに頑張っている人を、地域の皆さんでバックアップしていく姿勢が必要だと強く思います。例えば、地域の福祉や高齢化に関わることで、地域の皆さんがお互いに協力できるなら、どうしたらより多くの方々に協力してもらえるか。その体制を話し合うところに、この会議の意味があります。</p>
委員	<p>それぞれの団体ごとに地域の課題を出し合ってみてはどうでしょうか。ある地区が抱える課題を、地域みんなで解決できるということであれば、協力する住民の輪ができてくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、PTA 連合会や子ども会育成会など、教育や学校に関係する団体として、協働して課題に取り組めればよいと思います。実働組織を作る原点はそこにあるような気がします。</p>
委員	<p>地域会議と実働組織はあくまで別の組織。当初の説明では、地域会議は実働組織の立ち上げの方向性を検討するだけであったと記憶しています。</p> <p>今日の議論を聞いていると、地域会議と実働組織が何だか一緒になってしまっている感じを受けますが、事務局はどう考えますか。</p>
事務局	<p>事務局としては、実働組織の立ち上げに当たり、その前段として組織のあり方の検討を皆様をお願いしています。</p> <p>この地域会議の議論は、実働組織を立ち上げる際の参考意見という位置付けではありますが、何も無いところから実働組織は作れません。</p>
委員	<p>例えば、防災というテーマで実働組織を考えた時に、地域内のどういう団体に参加してもらおうのが望ましいかということを私たちが話し合い、実際に旗を振って団体を集めるのは行政の役割と考えてよろしいですか。</p>
事務局	<p>各種団体に声をかけて集めるところまでは行政が担いますが、実働組織は自主自立の組織ですので、取り組むテーマや実際の活動内容については、実働組織の方々の判断によって決めることとなります。</p> <p>また、テーマによって団体を集めるような考え方もあるようですが、ある一定</p>

	<p>規模の組織を作り上げることができれば、その構成人数からすればテーマごとに分けたとしても十分活動できるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>実働組織は自然派生的にできるものではありません。行政が呼びかけるのか、私たちが地域会議の委員が中心になって作り上げていくのか、その辺りを事務局ではどう考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域会議委員の中には団体推薦の方が多くいらっしゃいますので、これまでの議論の中身も踏まえて、委員の皆様にも立ち上げの牽引役として関わっていただきたいと思います。</p>
佐山会長	<p>実働組織が立ち上がった後、地域会議の位置付けはどのようなのでしょうか。</p>
事務局	<p>今すぐには難しいですが、将来的に融合できるなら、地域会議と実働組織が合体して運営されるような方向も考えられるのではないかと思います。</p> <p>他の地域会議での議論を見ていると、まずは団体ごとの活動を知ることが大切で、様々な団体が同じテーブルで話し合うことで活動のネットワークができて、互いに協力する機運が生まれてきているように感じています。</p>
佐山会長	<p>地域の課題に対して「労力がかかるかもしれないけど、自分たちに協力できることがあるかもしれない」と初心に帰って取り組むことが、実働組織を立ち上げるうえでのポイントのように思います。</p> <p>7つの地区ごとに分けて立ち上げるのか、この中央地域全体が協力し合えるようなテーマに基づいて横断的に立ち上げるのか。さらに皆様のご意見をいただけますか。</p>
委員	<p>実働組織の立ち上げに当たり、「どういう課題があるか」を議題にすると、課題だけがたくさん出てきてしまって議論が深まりません。それよりは「どういう風にしたら組織がうまくいくだろうか」「どうやったら前に進められるだろうか」という点だけに絞って議論していくのがよいと思います。</p> <p>組織の立ち上げも、やらなければならないことを7つの地区で包括的に集めてやろうとすると、なかなか難しいのではないのでしょうか。それよりは「やりたいこと」「参加したいこと」に絞ってやれば、7つの地区からそれぞれ参加したいという方が出てきて、この中央地域を横串に刺すような組織ができるような気がします。</p>
佐山会長	<p>大変良い意見を出していただきました。確かに、地区ごとに課題を挙げてそこからテーマを抽出していくのは容易なことではありません。「やりたいこと」「参加したいこと」を中心として、実働組織がどうやったら前に進むかという前向き</p>

委員	<p>な議論をしていくことが大切です。魅力的な提案に「この指とまれ」といった感じで活動していくほうが、組織もまとまりやすいと思います。</p> <p>モデル地区の皆川・吹上・寺尾のまちづくり協議会を考えた場合、1つにまとめずに3つの実働組織を立ち上げた後も、それぞれの活動の方向性を一致させるために情報交換のネットワークを組むはずですよ。</p>
委員	<p>この中央地域も、仮に7つの地区で7つの実働組織に分かれても、しっかり情報交換できる仕組みを作れば問題ないと思うのですが。</p>
委員	<p>それでは現在の各地区自治会連合会とほとんど変わらないように思います。</p>
事務局	<p>今日で結論を出す必要はありません。全体のスケジュールから逆算すると、地域会議でまだ何回か検討できますので、皆様で議論のうえ、望ましい結論に持って行っていただければと思います。</p>
佐山会長	<p>ここまで様々な議論が出ましたので、事務局で内容を要約してもらい、次回の資料とすれば議論もしやすいと思います。</p> <p>また、モデル地区の各まちづくり協議会やコミュニティ推進協議会の活動内容がわかる資料なども併せて提示していただけると、議論がより深まるのではないかと思います。</p> <p>この件につきまして、本日はここまでといたします。</p> <p>では、次の議題に移ります。(2)の栃木市市民会議委員の推薦について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(2) 栃木市市民会議委員の推薦について</p> <p>資料（総務部総務課からの委員推薦依頼書）を説明。</p> <p>【佐山会長と事務局で候補者を協議し、その方に依頼することで了承】</p> <p>ありがとうございました。以上で本日の協議事項は終了いたしました。この後の進行は事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 「地域づくりと協働の講演会」の開催について</p> <p>日 時：平成27年10月27日（火） 14時00分～</p> <p>会 場：栃木市栃木文化会館 小ホール</p> <p>対象者：全地域会議委員（129名）</p> <p>地域づくりに興味のある市民の皆様 など</p>

テーマ：『地域づくりは人づくり』～地域の活性化を担う人材の育て方～
講師：高崎経済大学地域政策学部 大宮 登 教授

(2) 事務連絡

- ・10月の地域会議は、地域自治交流会が開催されるため中止。
- ・次回開催予定 平成27年11月26日（木）18時30分～
栃木市役所本庁舎3階 正庁

5 閉会